

報告1 秋田駅西口バス出発案内デジタルサイネージ設置事業について

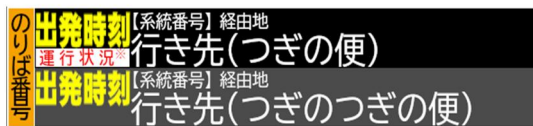
令和7年4月から秋田駅西口ぽぽろードに設置しているバス出発案内デジタルサイネージの事業効果について、アンケート調査を実施の上、本協議会に報告することとしていたことから、その結果を報告するものである。

1 デジタルサイネージの概要

(1) 表示内容

- ・西口バスターミナルの乗り場ごとに、直近2便の定刻出発時刻を表示
- ・画面右下部分には、乗り場の案内図および本市のPR動画等を表示

▽各乗り場の表示内容



▽ぽぽろード内への設置状況



▽表示画面

実証事業中 **秋田駅西口バス出発案内** 2025/04/07 12:44

画面に触らないでください。 タッチパネルではありません。

のりば①	12:59 [140] 県庁市役所・大川反車庫	のりば⑩	12:47 羽後交通 県立体育館前
のりば②	13:22 [140] 県庁市役所・大川反車庫	のりば⑪	13:03 買物広場で乗換 中心市街地循環バス ぐるる
のりば③	13:11 [145]市立体育館 経由 県庁市役所・臨海営業所	のりば⑫	13:10 [344]三吉神社入口・産団地 経由 大学病院・秋田駅東口
のりば④	13:47 [145]市立体育館 経由 県庁市役所・臨海営業所	のりば⑬	14:00 [302]三吉神社入口・大学病院 経由 太平・岩見三内
のりば⑤	13:20 [101]新国道・土崎 経由 天王グリーンランド	のりば⑭	13:05 [361] 秋田温泉・蓬田上丁
のりば⑥	13:45 [110]新国道・土崎 経由 飯島北	のりば⑮	13:30 [372]秋田大学・手形山北町 経由 大学病院
のりば⑦	13:00 [133]県庁・市役所・寺内・將軍野 経由 サンパーク・秋田厚生医療センター	のりば⑯	12:50 [524] 牛島東五丁目・御野場団地
のりば⑧	13:40 [121]県庁・市役所 経由 寺内・土崎駅	のりば⑰	13:20 [513]牛島東五丁目・ニュータウン御野場 経由 イオンモール秋田
のりば⑨	13:08 [142] 長崎屋・大川反車庫		
	13:20 [701]通町・大町・市立病院 経由 商業・割山・免許センター		
	13:35 [722]県庁・市役所 経由 栗田県住・西部SC		
	14:00 [713]イオン秋田中央・卸センター 経由 新屋・西部SC		
	13:10 [220]通町 経由 泉ハイタウン		
	13:25 [207]天徳寺バイパス・神田旭野 経由 秋田厚生医療センター		
	13:50 [424]城東消防署 経由 桜ガ丘・大平台三丁目		
	14:00 [550]イオン秋田中央店・大住団地 経由 牛島西四丁目		

秋田空港リムジンバスは⑬のりばから出発します。
リムジンバスの運行ダイヤは右のQRコードからご確認ください。
秋田中央交通が運行する路線バス・リムジンバスでは、AkICAやSuicaなどの交通系ICがご利用いただけます。



このデジタルサイネージは、バス乗降者が提供したオープンデータを基にし、秋田県が設置・運用しています。

(2) 対象路線

空港リムジンバスを除く秋田駅西口発の全路線
(中心市街地循環バス「ぐるる」にも対応)

(3) 稼働時間

6時から21時まで

2 アンケート結果について

報告資料1-1のとおり

3 今後の対応方針

- ・市公式LINEやHPを活用し、サイネージをはじめとした本市が運行情報を提供している媒体を周知することにより、認知度の向上を図る。
- ・遅延・運休などのリアルタイムの運行情報の新たな掲載、より視認しやすい画面表示への更新のほか、設置要望の多い施設への導入を検討し、運行情報提供に対する満足度の向上を図る。

令和8年度 秋田市の交通に関するアンケートの結果について（抜粋）

1 調査目的

ぼぽろード内秋田駅西口やミルハスにおいて、バスの時刻等を掲載したサイネージを設置しているほか、市内のバス時刻・料金等を検索できる秋田市バス案内サービスや、マイタウン・バス等の位置情報を確認できる秋田市バスロケシステムを運用し、公共交通の運行情報の提供に努めている。

こうした中、今後さらなる運行情報提供の充実を図るため、アンケートを実施し、ニーズ等を把握しようとするもの。

2 実施状況

実施期間：令和8年4月14日（火）～4月24日（金）

実施方法：WEB（秋田市公式LINEによる回答依頼）、紙（サイネージ横に回答用紙を設置）

回答者数：1,269人

3 調査結果

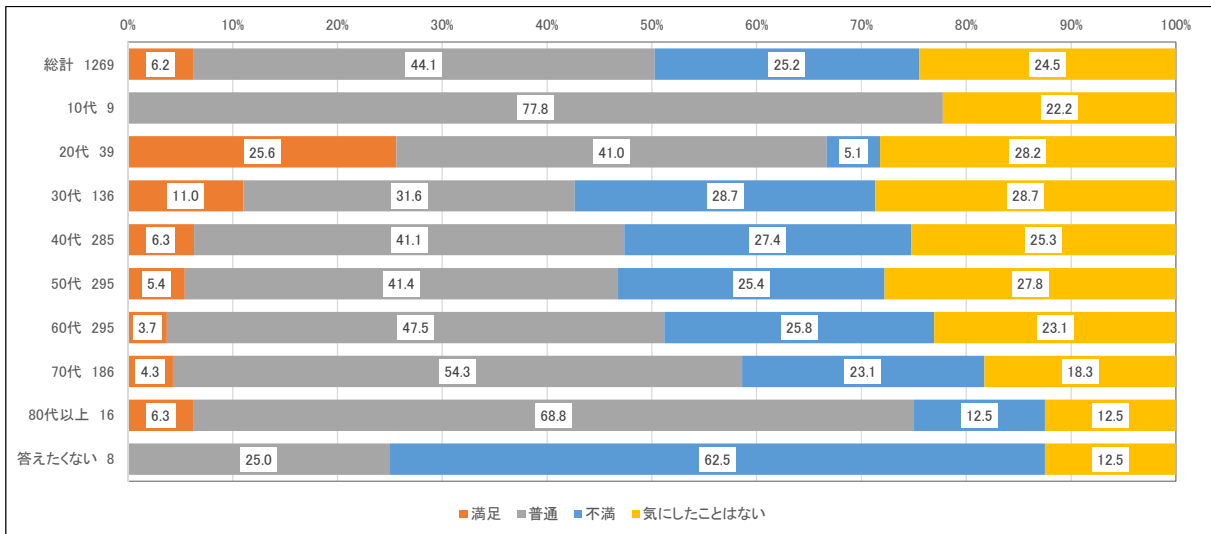
※比率はすべて百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、比率の合計が100%にならないことがある。

(1) 回答者属性

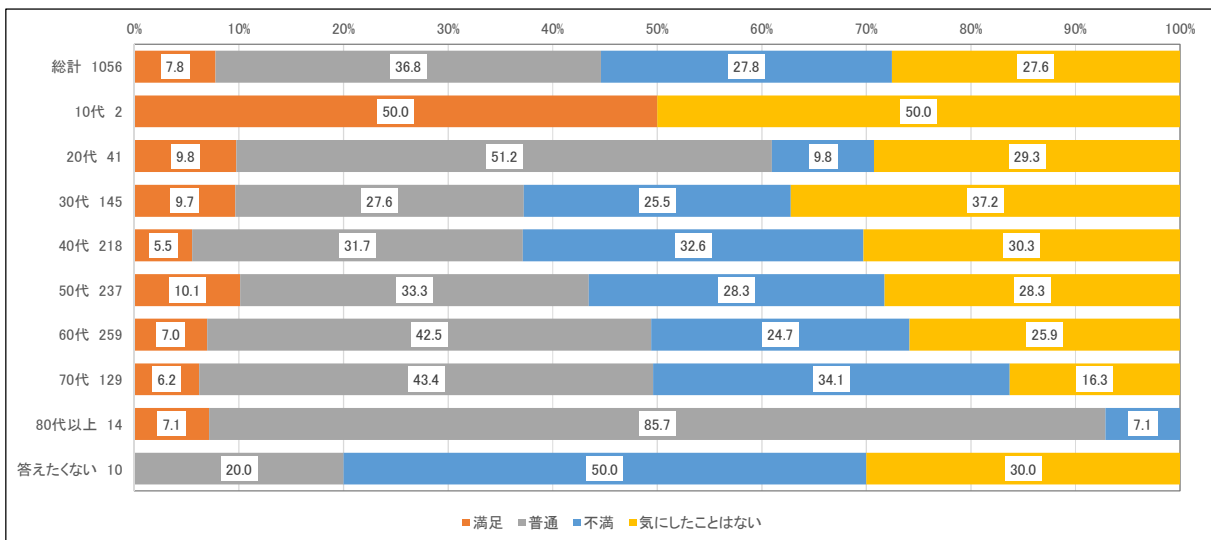
属性		今回		前回（R6）	
		人数 （人）	割合 （%）	人数 （人）	割合 （%）
全体		1,269	100.0	1,055	100.0
性別	男性	396	31.2	359	34.0
	女性	850	67.0	677	64.2
	その他	23	1.8	19	1.8
年代	10代	9	0.7	2	0.2
	20代	39	3.1	41	3.9
	30代	136	10.7	145	13.7
	40代	285	22.5	218	20.7
	50代	295	23.2	237	22.5
	60代	295	23.2	259	24.5
	70代	186	14.7	129	12.2
	80代以上	16	1.3	14	1.3
	答えたくない	8	0.6	10	1.0

(2) バス運行に関する情報提供についての満足度

<今回>



<前回 (R6)>

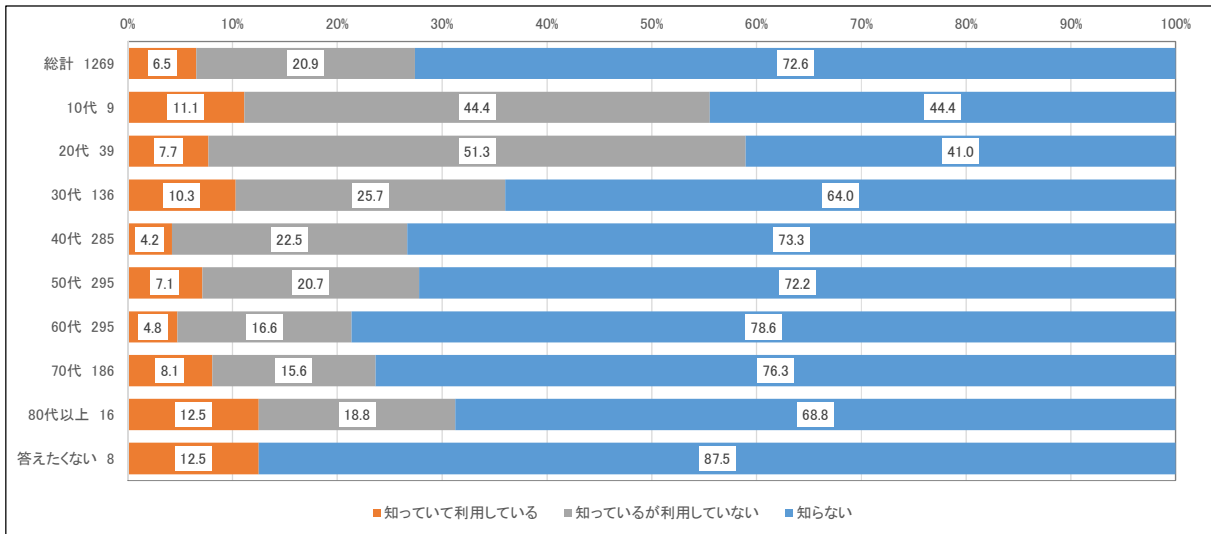


全体では、「満足」の割合が1.6ポイント低下したものの、「不満」の割合も2.6ポイント減少し、不満感はやや改善しているといえる。

年代別では、「満足」の割合は20代が25.6%で最も高く、60代が3.7%で最も低かった。「不満」の割合は10代が0%で最も低く、30代が28.7%で最も高かった（答えたくないを除く）。

前回と比較すると、20・30代は「満足」の割合が増加しており、スマートフォン等を有効活用し、運行情報を取得している可能性が高い。一方、それ以外の年代ではその割合は低下しており、遅延や運休に対する情報提供や、情報提供の手段・媒体等について、満足していないという意見があることが考えられると同時に、「普通」の割合が増加していることから、現在の情報提供体制は、当たり前の水準になりつつあることが考えられる。

(3) サイネージ認知度

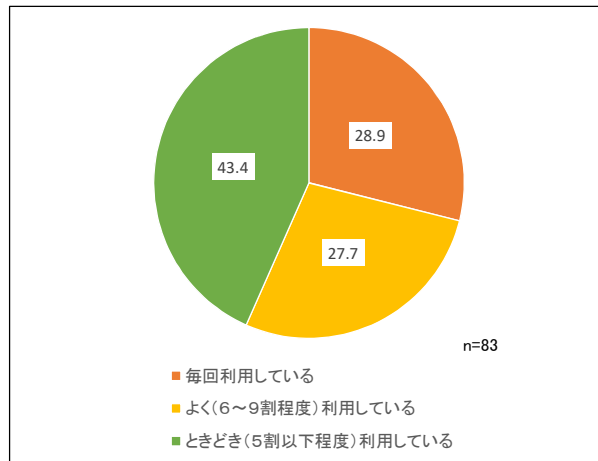


「知っている利用している」と「知っているが利用していない」を合わせた「知っている」割合は27.4%にとどまっている。秋田駅を訪れない人が一定数いることが考えられるが、設置場所が限定的で分かりづらい可能性もあると想定される。

20・30代は「知っている」割合が高い一方で、利用している割合が低く、スマートフォンにより情報取得している可能性が高いと思われる。

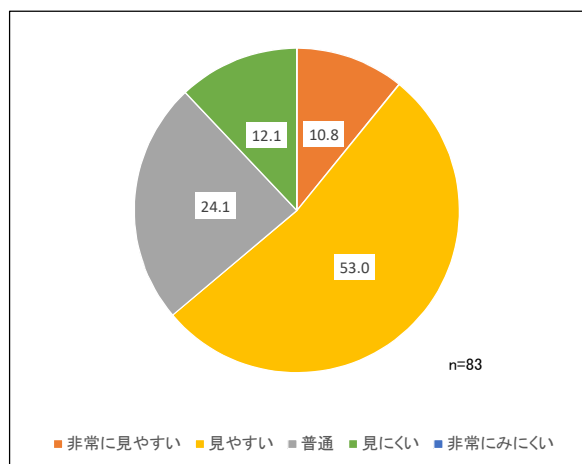
80代は、スマートフォン等よりもサイネージの方が視認しやすく、利用している割合が高くなっていると思われる。

(4) サイネージ利用頻度（「知っている利用している」方に対する質問）



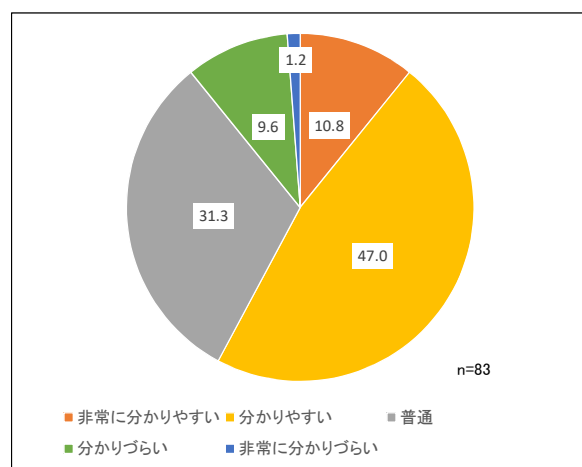
「毎回利用している」割合が28.9%、「よく(6~9割程度)利用している」割合も27.7%と高い割合であり、既に利用されている利用者にとっては、継続的に活用できる有効な情報提供手段になっていると考えられる。

(5) サイネージ見やすさ（「知っていて利用している」方に対する質問）



「非常に見やすい」と「見やすい」を合わせた割合が 63.8%であり、文字サイズや配色等の視認性について一定程度満足いただけていると考えられる。一方、「見にくい」が1割程度あり、画面表示や設置位置など、改善の余地がある可能性があるといえる。

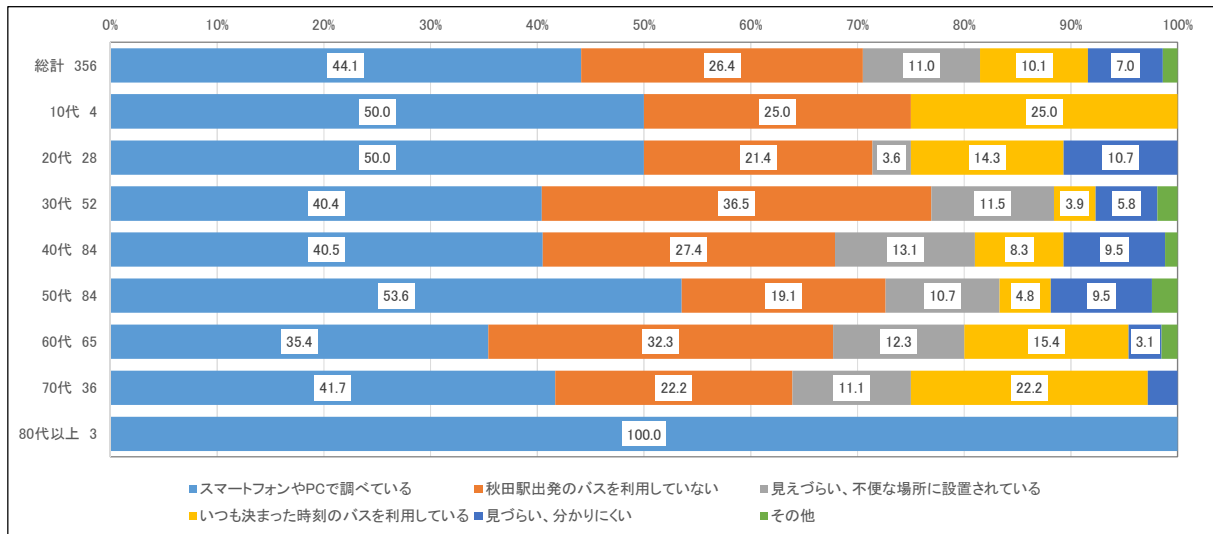
(6) サイネージ分かりやすさ（「知っていて利用している」方に対する質問）



「非常に分かりやすい」と「分かりやすい」を合わせた割合が 57.8%であったが、前問の「見やすさ」と比較すると、評価はやや低くなっている。また、「非常に分かりづらい」との回答もあり、文字サイズや配色等は見やすいものの、表示する情報の内容、表示の仕方について、改善の余地がある可能性があるといえる。

(7) サイネージを利用しない理由（「知っていて利用していない」方に対する質問）

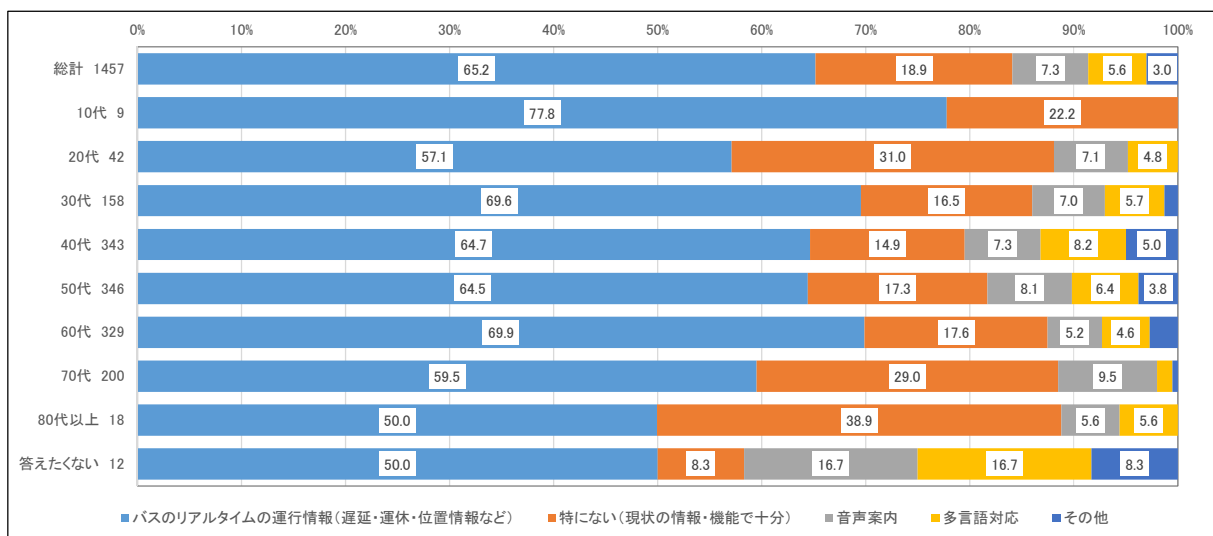
※複数回答可



全ての年代で「スマートフォンやPCで調べている」割合が最も高く、「秋田駅出発のバスを利用していない」割合も高かった。一方、「見えづらい、不便な場所に設置されている」、「見づらい、分かりにくい」から利用しないという意見も一定程度あり、設置場所や表示内容について、改善の余地があるといえる。

(8) 今後、サイネージに必要な情報・機能

※複数回答可

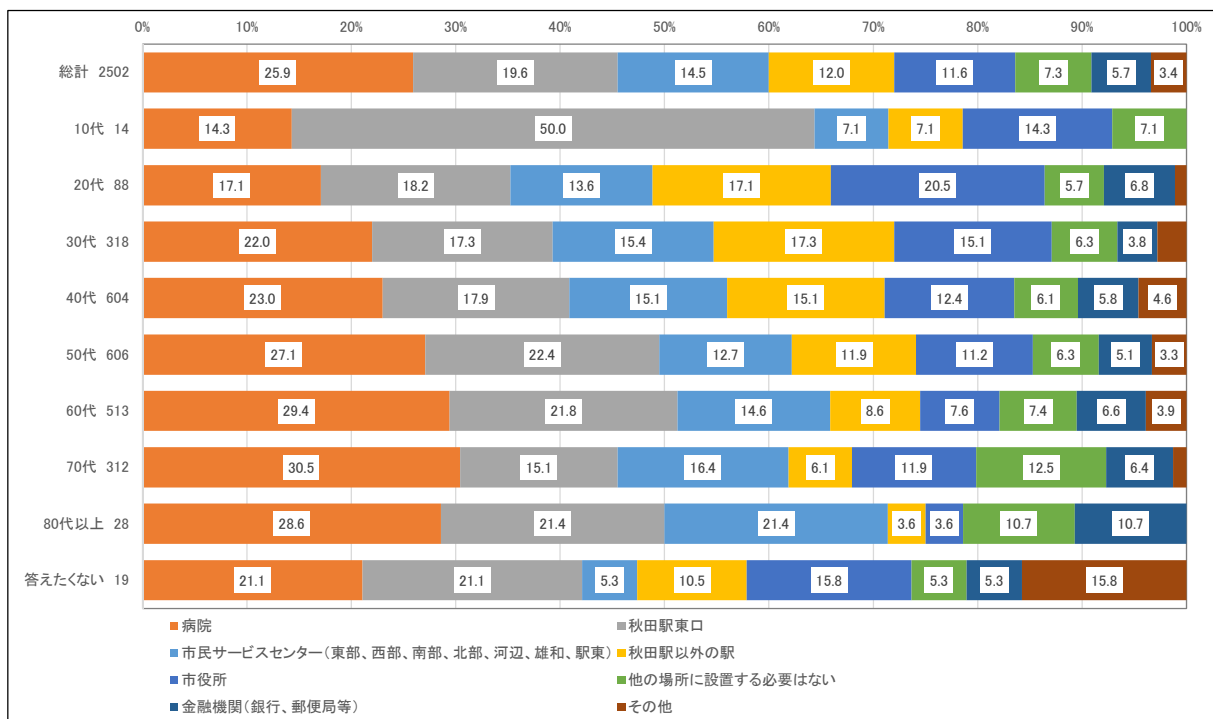
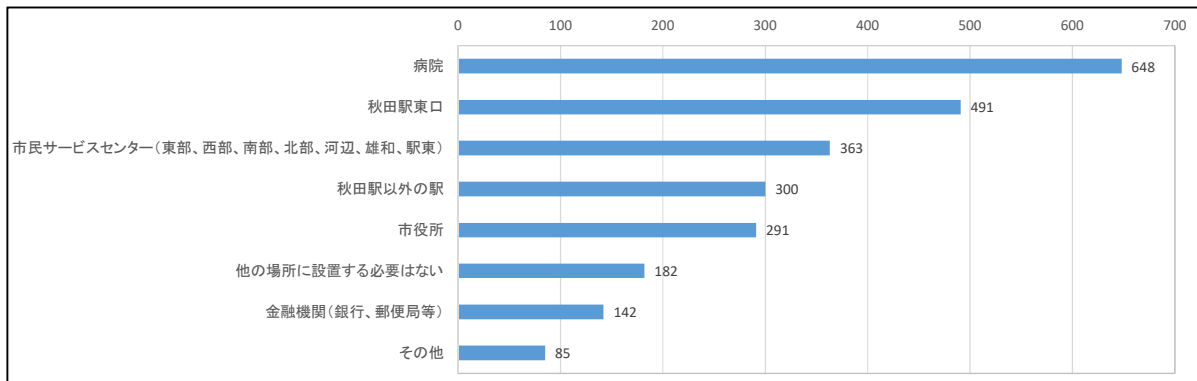


全年代で「バスのリアルタイムの運行情報（遅延・運休・位置情報）」の割合が5割を超えており、天候や交通状況による遅延・運休に対する情報提供の重要性が感じられる。

「特にない（現状の情報・機能で十分）」の割合も全年代で一定数存在しており、現行サービスに対して満足いただけていることも分かる。

(9) 今後、サイネージを設置してほしい場所

※複数回答可



「病院」へのニーズが25.9%と最も多く、高齢者を中心に公共交通による通院需要が高いことが考えられる。

市内各地の拠点としての機能を担っている「市民サービスセンター」の割合も一定程度あり、市民サービスセンターからの移動ニーズがあることが考えられる。

概ね年代が高くなるにつれて、「他の場所に設置する必要はない」の割合が高くなる傾向にあり、既存の運行情報取得の手段が定着していることや、新しい情報媒体への抵抗感が背景にあると考えられる。

「その他」では、スーパーやショッピングセンターなどの商業施設への設置を求める声が多かった。